

第2学年国語科学習指導案

日 時 平成26年11月7日（金）公開授業Ⅰ

対 象 2年1組 男15名、女12名 計27名

指導者 千葉 真由美

1 単元名 読んで、せつめいのしかたを考えよう 「しかけカードの作り方」

2 単元の目標

第2学年の目標

（3）書かれている事柄の順序や場面の様子などに気付いたり、想像を広げたりしながら読む能力を身に付けさせるとともに、楽しんで読書しようとする態度を育てる。

事柄の順序と文章構成上の順序を考えながら、内容の大体を読むことができる。

3 単元の評価規準

観点	B：おおむね満足できる
国語への 関心・意欲・態度	ものの作り方の順序や説明の工夫を考えながら、読もうとしている。
読む能力	ものの作り方の順序や、材料、作り方、使い方の順に説明するといった文章の構成上の順序などに気を付けながら、文章を読んでいる。（イ）
言語についての 知識・理解・技能	主語と述語の照応関係に注意して、文や文章を読んでいる。（イ（カ））

4 単元について

（1）児童について

児童はこれまでに、説明的文章「たんぼぼのちえ」や「動物園のじゅうい」の学習を通して、時間や順序を表す言葉に着目しながら読む学習を行ってきた。これまでの学習で、説明的な文章の順序や様子などを考えながら、書かれている事柄の大体をとらえたり、文末表現に着目し、問いと答えの文を関連付けて読んだりする力は全体的についてきていると思われる。しかし、学習面において、大きな個人差があり、内容の大体を読むことの難しい児童も見られる。

そこで、本単元では、児童にとって実際に作ってみたいと興味をもつことのできる「しかけカードの作り方」という教材で、叙述に沿って手順を読む活動を行いたい。また、児童の実態を考え、細部に着目して読むことのできる手立てを工夫しながら、説明の仕方を考えさせていきたい。

（2）教材について

本教材「しかけカードの作り方」は、開くと飛び出すカードの作り方を写真と文で分かりやすく説明していて、児童が興味をもつことのできる題材である。さらに、実際に文章を読んで自分で作ってみる活動を行うことで、文章をフィードバックして読みながら、内容の大体を読み取ることができる。順序を表す言葉に着目して読んだり、文章と写真を対応させて読んだりすることで、分かりやすい説明を実感できると思われる。本単元はこれまで学習してきた説明的文章とは少し異なり、「手順を読む」経験をすることになる。さらに、写真と文を合わせて読む学習は本学年では初めてで、今後上学年の説明的文章を読む学習につながっていく。

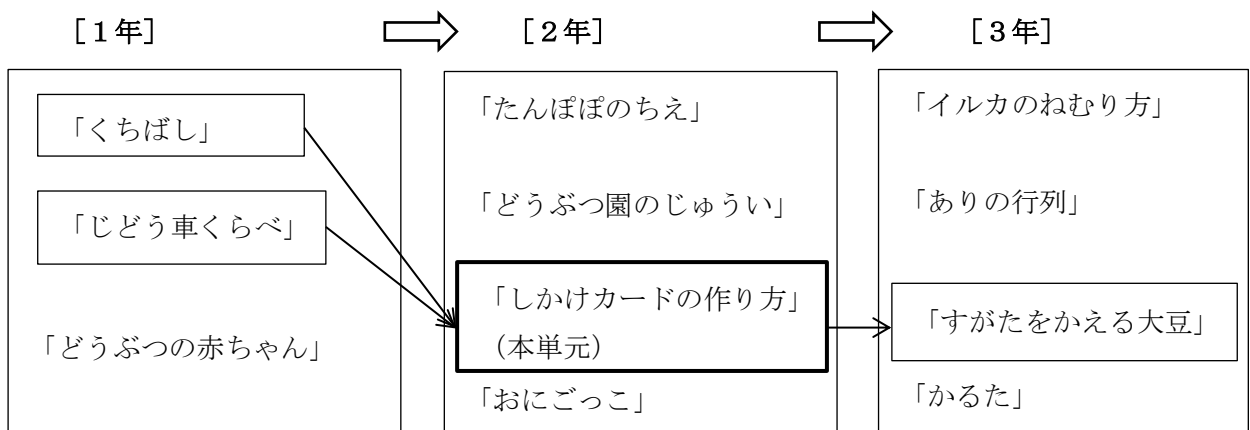
(3) 指導について

本単元では、「事柄の順序と文章構成上の順序を考えながら、内容を理解する力」を身に付けるため「分かりやすいせつめいのこつを見つけよう」という言語活動を位置づける。

説明のこつとして、「<ざいりょう><作り方><つかい方>のじゅんにせつめいすること」「じゅんじょをあらわすことば」「しゃしんや絵、数字や大きさ」を見つけ、説明のこつカードに記入させる。このことにより、仕組みなどについて説明した文章を読むとき、事柄や構成の順序に気を付けて読むことができるようになると思う。

本研究の視点1「場のつながり」に関わっては、日常実践している「滝南中校区学習のやくそく」を意識し、聞き方、話し方の基礎を積み上げていくことを大切に指導していきたい。視点2「教材のつながり」に関わっては、1年生の「くちばし」や「じどう車くらべ」（くらべてよもう）での学習を生かし、さらに3年生の「すがたをかえる大豆」（せつめいのしかたを考えよう）につながるように、指導事項を意識していきたい。特に本単元では、低学年の説明的な文章の解釈で大切な「時間的な順序や事柄の順序などを考えながら読むこと」の力を確実につけたい。視点3「ひとのつながり」に関わっては、指導過程の「自分の考えをもつ」と「互いの考えを交流する」に全員が参加できるような手立てを工夫していきたい。具体的には、分かりやすい説明の仕方を見つける段階で、比較できる文章との違いを見つける活動を行うことで、自分の考えを全員がもてるようにしたい。考えを交流する段階では、ペアで交流した後に全体で交流することで、一人一人が安心して参加できるようにしたい。また、児童の発表を視覚的にとらえやすい板書に表し整理しながら進めることで、発表するだけでなく全員が集中して聞くことができるようにしたい。

5 単元の系統と他教科との関連



6 単元の指導計画（6時間扱い）

- | | |
|---------------------------------------|---------|
| (1) 学習課題を設定し、学習計画を立てる。 | 1時間 |
| (2) 教材文を読み、作り方の順序を確かめる。 | 1時間 |
| (3) 作り方を読みながら、実際にしかけカードを作る。 | 1時間 |
| (4) 分かりやすい説明の仕方を考える。 | 1時間（本時） |
| (5) <作り方>の6つの段落内の書き方を知る。 | 1時間 |
| (6) 他の作り方や使い方、遊び方の本を読んで説明の仕方のこつを見つける。 | 1時間 |

7 本時について

(1) 目標

2つの文章を比較して、分かりやすい説明の仕方を見つけることができる。 <読む能力>

(2) 「自分の考えをもつ^自」「互いの考えを交流する^交」「互いの考えのよさに気づく^気」場面

本時の「自分の考えをもつ」場面は、教材文の分かりやすい説明を見つけてワークシートに書く場面である。「互いの考えを交流する」場面は、自分の考えをペアで伝え合う場面と全体で交流する場面である。「互いの考えのよさに気づく」場面は、分かりやすい説明の仕方について全体で交流する場面である。

(3) 展開

段階	学習活動	場面	○指導上の留意点●評価の観点(方法)
導入 5分	1 本時の学習の見通しをもつ。 2 課題を設定する。 <div style="border: 1px solid black; padding: 5px; width: fit-content; margin: 5px auto;"> 分かりやすい せつめいのしかたの、 こつを見つけよう。 </div>		○指導上の留意点●評価の観点(方法) ○前時で教材文を読んで、しかけカードを作ってみたことを想起させた後に、不十分な教材文を提示し、本時の学習の見通しをもたせる。 ○教材文と不十分な教材文(順序を表す言葉、写真、数字などを除いたもの)の二つを提示し、その違いを見つけることで、分かりやすい説明の仕方を見つけることを確認する。
展開 30分	3 学習場面を音読する。 4 課題を解決する。 (1) 教材文の分かりやすい説明(不十分な教材文と違う部分)とその理由をワークシートに書く。 (2) ペアで交流する。 (3) 全体で交流する。	自 交 気	○教材文を段落ごとにリレー音読させる。 ○二つの文章を比較することで、どの子にも説明を分かりやすくしている言葉に気づかせる。 ○見つけた違いが、説明を分かりやすくしている理由も付け加えて話すようにさせる。 ○順序を表す言葉・写真や絵・数字や大きさ・説明の順序があると分かりやすいことをとらえられるように、発表を整理していく。 ●分かりやすい説明の仕方を見つけることができたか。(ワークシート・発言)
終末 10分	5 本時のまとめをする。 <div style="border: 1px solid black; padding: 5px; width: fit-content; margin: 5px auto;"> わかりやすい せつめいをするには ① しゃしん、絵、数字、大きさを入れる。 ② じゅんじょをあらわすことばをつかう。 ③ 〈ざいりょう〉《作り方》〈つかい方〉のじゅんじょで書く。 </div> 6 学習を振り返り、次時の見通しをもつ。		○交流したことの板書をもとに、本時の学習を書きまとめさせる。 ○各段落の「すること」と「注意すること」の書き方など本時のまとめ以外の気づきは、次時に取り扱うことを知らせる。 ○本時の学習を振り返り、分かったことや感想を発表させる。

(4) 板書計画

読んでせつめいのしかたを考えよう

しかけカードの作り方

分かりやすいせつめいのしかたの
こつを見つけよう

教材文

不十分な
教材文

分かりやすいせつめいをするには、

- ① しゃしんや絵、
数字や大きさを入れて書く。
- ② じゅんじよをあらわすことばを書く。
- ③ 「ざいりよう」「作り方」「つかい方」
のじゅんじよで書く。